



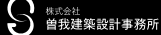
NILZZ

RACING FACTORY

FUJI GT 300KM RACE

2026 AUTOBACS SUPER GT Round.4 RACE REPORT

カテゴリー	: SUPER GT SERIES 2026 GT300 クラス	公式練習	: 1'38.615 (GT300 クラス 8 位)
エントラント	: NILZZ Racing	公式予選 Q1	: 1'38.021 (GT300 クラス A 組 7 位)
カーナンバー	: 48	公式予選 Q2	: 1'38.831 (GT300 クラス 18 位)
マシン名称	: 健康ケーズフロンティア WM ニルズ GT-R	予選総合	: GT300 クラス 18 位
ドライバー	: 井田太陽 / ジェームス ブル 藤原大暉 (リザーブドライバー)	決勝	: GT300 クラス 24 位 (61 周)
開催地	: 富士スピードウェイ (静岡県)		
開催日	: 2026.8.1~2026.8.2		
天候	: 曇り (8.1) / 雨~曇り (8.2)		
イベント動員数	: 22,300 人 (8.1) / 34,100 人 (8.2)		





2026 AUTOBACS SUPER GT シリーズ第4戦“FUJI GT 300KM RACE”が8月1日(土)から2日(日)にかけて、静岡県富士スピードウェイで開催された。

今回は300kmのレース距離で争われることで、NILZZ Racingは井田太陽とジェームス・ブルのペアでエントリーした。

8月1日(土) 公式練習

強い日差しが照りつける中、10時30分より行われた公式練習。

セッション序盤はブルがドライブ。

チェック走行を行った後、GT500クラスとの混走ではあるが、予選シミュレーションを行い、1分38秒615を記録する。

セッション後半は井田を中心に連続走行を行った。

約3ヶ月ぶりの実戦ではあるが、大きなトラブルもなく、GT300クラス8位で公式練習を順調に終えた。

8月1日(土) 公式予選

上空に雲はあるものの、午前中よりも気温が上がったコンディションの中、14時20分より公式予選が行われた。

今回の予選Q1はAグループでの出走となるNILZZ Racing。予選Q1のアタッカーはブルが担当した。

ウォームアップを終えたブルは、残り時間約2分40秒の時点で1分38秒538を記録し、セッショントップに立つ。

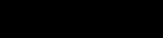
その後、1分38秒021までタイムを短縮し、残り約1分で3位につける。そして10分間のセッションが終了。

他車のタイム更新により順位は変動したが、この予選Q1Aグループで7位となったことで、予選Q2に進出した。

予選Q2では井田が出走。計測3周目に1分38秒831を記録する。

その後もアタックを継続するが、タイム更新には僅かに及ばず。

このセッションは18位となり、今シーズン予選ベストリザルトを更新した。





8月2日(日) 決勝

スタート直前、グリッド上で急に大粒の雨が振り出し、路面は一気にウェットへと変化した。

しかし雨足が弱まったこともあり、NILZZ Racing はドライタイヤを選択した。

コースコンディションの変化により、セーフティーカー (SC) スタートにて決勝レースがスタート。

SC 先導により、隊列を組んだまま周回のカウントは進んでいった。

SC が退去し、5 周目からリスタート。しかしスタート直後にストレート上で GT500 クラス車両に大きなクラッシュが発生。直ぐに赤旗が提示され、レースは中断となった。

約 34 分の中断を経て、再び SC 先導によりレースは再開された。

SC が退去し、10 周目からレース再開。

スタートドライバーを担当するプルはリスタート後から徐々に順位を上げ、ピットインを行う 42 周終了時には GT300 クラス首位に浮上した。

ピットインを行い、ドライバーは井田に交代。GT300 クラス 21 位でレースに復帰。

井田は残りの周回を走り切り、61 周を終えたところで第 4 戦のチェッカーフラッグを受けた。

猛暑の中でのレースとなりましたが、今回もチェッカーまで大きなミスもなく完走できました。

スケジュールの変更により、次戦鈴鹿大会はシリーズ前半戦の折り返しを迎えることとなります。

前半戦の締めくくりに相応しいレースとなるように、引き続き頑張ってまいりますので、皆様のご支援、ご声援をよろしくお願いいたします。

